

2006年3月～2019年4月の間に当科において 卵巣腫瘍（漿液粘液性境界悪性腫瘍）の治療を受けられた方へ —「卵巣 Seromucinous tumor の術前診断に関する後方視的研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 金澤 右
研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 大塚 愛二

研究責任者 岡山大学病院 産婦人科 助教 原賀順子
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御学 産科・婦人科学
准教授 中村圭一郎
岡山大学病院 産婦人科 医員 松岡敬典
岡山大学病院 産婦人科 助教 小川千加子
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御学 産科・婦人科学
教授 増山 寿

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

卵巣腫瘍において、漿液粘液性腫瘍（Seromucinous tumor）は2014年に新たに確立した組織型です。病気になりやすい女性の年齢は36歳～49歳であり比較的若い方に発症するため、手術の方法を決定するためにも、手術の前の検査でこの疾患を正確に疑うことが必要となります。しかし、頻度が稀であり、最近新設された分類であるため、蓄積された情報が少なく、手術の前の診断は容易ではありません。そこで我々は、これまで当院で治療を行った卵巣漿液粘液性腫瘍の患者様の治療前の血液や画像の検査結果を調べることで、その特徴を明らかにすることを目的とし、本研究を計画しました。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

複数の方の情報をまとめて検討することで、手術前の検査所見の特徴を捉え、今後の卵巣腫瘍の診断・治療に役立てられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2006年3月1日～2019年4月30日の間に岡山大学病院産科・婦人科において卵巣腫瘍（漿液粘液性腫瘍）の治療を受けられた方21名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2020年4月10日

3) 研究方法

2006年3月1日～2019年4月30日の間に当院において卵巣腫瘍（漿液粘液性腫瘍）の治療を受けられた

方で、研究者が診療情報をもとに血液検査や画像検査、病理組織検査のデータを選び、その特徴に関する分析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 診察所見、治療内容、腫瘍マーカーやMRI・PET-CTなどの検査データ

7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院産婦人科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

研究計画については、本文書により開示にかえさせていただきます。

研究中はどなたの情報かをわからないようにして解析するため、個人情報の開示はできません。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年3月27日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 産婦人科

氏名：原賀 順子

電話：086-235-7320（平日：8時30分～17時00分、平日夜間・休日は対応できません）

ファックス：086-225-9570